

[年間連載テーマ]自律と協働のまちづくりを目指す

8月号のテーマ

# 役場の仕事を 町民みんなで担う

## —「協働」について考える—



「協働」は、きっとこんなところからも芽生えます。

小さな子どもの想い出の中に  
生き続けるでしょう。

喜茂別高校の三年生と先生たち。  
閉校年のボランティア活動は、

保護者役を買って出た  
保育所運動会のリハーサルに、

- 情報共有を深める[プラン策定の現場から③／町長の行政報告]
- 町民の広場[私たちの創作と表現③／きもべつの文芸／健康通信／桂院長のちょっと耳寄りな話]
- まちの話題[写真で振り返る6・7月の出来事]
- お知らせ[町、道、国などからのお知らせ／ほっとインフォメーション]
- すぐすぐ1歳です／まちのカレンダー／戸籍の窓口 など

広報

きもべつ

2009年  
8月

# 役場の仕事を 町民みんなで担う

「協働」について考える

7月号の特集では、公的サービスの多様な担い手のひとつとして、アウトソーシングの現状と課題、展望について、事例をもとに考えました。各事業体が単独で頑張るだけではなく、互いの連携や組織化に向けて一層の改革が必要であることが浮かび上がりました。8月号では、自治の多様な担い手とともに考える。

「協働」について、本町における事例をもとに考えてみます。

## I 「協働」って、どんなこと?

近年、じこの自治体でも「協働」の必要性を掲げ、さまざまな事例や概念についての研究が行われています。「協働」というのは、「共同」や「協同」と何が違うのでしょうか。

インターネットで「協働」を検索すると、膨大な事例と研究報告が紹介されます。まだ明確な概念規定はないようですが、おおよそ次のように理解されています。



しらかば会のお弁当づくり

—協働とは、行政と住民など異なる主体が、地域課題を解決するために、それぞれの特性を活かして対等な立場で協力します。一般的には、①住民が主体で行政が協力するタイプ、②住民と行政それぞれが主体となるタイプ、③行政が主体で住民が参加・協力するタイプなどに分類されます。つまり、地域の特性に見合った方法を柔軟に採用して地

## II 協働の現場から

### しらかば会の「寿のつかい」

町内には、長い期間活動している住民団体がいくつあります。婦人ボランティアしらかば会

域の課題を解決しよう、という姿勢が基本になっています。それでは、わが町にはどんな「協働」があるのでしょうか。そして、それはどんな特性と課題を有しているのでしょうか。



「寿のつかい」をお届けしたお宅で話しかけることもあります。(しらかば会)

は、平成21年に29年目を迎えました。その間、欠かすことなく毎月、独居高齢者に手作りのお弁当を届ける「寿のつかい」活動を継続してきました。お弁当を届け

方もいらっしゃるんですよ。みなさん、ほんとに喜んでくれます。届けて欲しいという方は他にもいらっしゃいますけど、私たちの人数やお弁当を作る経費の関係で、なかなか対応できていないんです。ですから、対象者でも少し元気な方には待っていただいている金や会費だけでは足らないので、山菜や畑でとれた野菜も持ち込んでいます。30名の会員も高齢化してきたので若い人にも参加して欲しいんですけど、なかなか

…。世代交代が進まないという話に言葉も湿りがちですが、老人クラブの男性陣が毎回車を運転して配達に協力してくれると、うれしそうでした。

双葉地区フラワーストリート 実行委員会による環境美化活動

る対象は、男性70歳以上、女性75歳以上、夫婦の場合80歳以上の方で、現在は毎月100名近くの方に届けています。初代の今川澄子会長から、二代目表谷政枝会長を経て、3年前から山本玲子さんが会長として頑張っています。山本さんに、お話をお聞きしました。

「毎月、みんなで作つたお弁当を届けながら、声を掛けて様子を伺つたりします。みなさんの元気な笑顔を見るのが、とても楽しめなんです。話しだすと止まらなくて、なかなか離してくれない



双葉フラワーストリート花植え

事業は今年21年目を迎えました。が、昨年、サミット協賛事業への協力を機に20年で幕を閉じようかと役員の間で話し合われたそうですね。平成元年のふるさと創生です。平成元年のふるさと創生

事業は今年21年目を迎えました。が、昨年、サミット協賛事業への協力を機に20年で幕を閉じようかと役員の間で話し合われたそうですね。平成元年のふるさと創生

ねー。」と声を掛けられていました。「こんな素晴らしいふれあいがあつたんですね。」はじめて参加したという先生は、花植えの様子をしんみりと眺めていました。

### 会員の 参加意欲高揚に向けた、 青年交流セミナーの 新たな挑戦

20年間の活動歴を有するきも



青年交流セミナーによる川くだり(H20年8月)

べつ青年交流セミナーは、地域発信型の外向型の活動から地域の足元を見つめ直す内向型の活動に軸足を移してきました。今年4月の総会では、会員の参加意欲を刺激するため、互いの交流を深めることを目的とした新たな事業と、会員向け広報の発行に取り組むことが決定されました。地域活動に取り組む若い現役世代の組織である交流セミナーの今後について、事務局の白川博順さんにお聞きしました。

「会員が100名を越える大きな組織になっているけど、実活動に参加できるのは、決して多くはありません。運営委員であっても、本業や様々な事情で常時参加することはなかなか難しいです。会員の多くは子育て世代ですし、共稼ぎがほとんどです。

家庭の状況から言って、活動に頻繁に参加できないのも仕方がないと思います。そのなかで、参加できない会員に対して、セミナーが今何に取り組んでいるのか、どのように取り組んでいますか。活動をしています。生活や仕事と折り合いがつけられたため、町から補助金が出ます。最近、新たな活動の場を創設することで観光ボランティアの会を復活させようとしている吉見啓さんに、お考えをお聞かせください。

### 活動の復活に向けて 準備を始めた、 観光ボランティアの会

5年ほど前、観光協会が廃止され、それまでの事業が商工会などに引き継がれたりアウトソーシングされたりして、観光事業の枠組みが大きく変動した時期に、住民主体で観光案内活動を行うことを目的に、50名ほどの有志によって「観光ボランティアの会」が結成されました。ゴールデンウイークには中山峠の観光情報セ

ンターにボランティアスタッフが詰めて、町内や近隣の観光ポイントの説明をしたり、パンフレットを手渡したりしました。おろいのロゴ入りウエアを調達するなど経費が生じたため、町から補助金が出ることになりました。しかし経余曲折の中で、その後活動は停滞しました。最近、新たな活動の場を創設することで観光ボランティアの会を復活させようとしている吉見啓さんに、お考えをお聞かせください。



観光案内窓口で活躍する  
観光ボランティアの会のスタッフ

聞きました。

「羊蹄山麓7町村の商工会と商工会議所が2年前から進めている観光ガイド育成事業が、ヒントになりました。私も受検しましたが、町内で受検し合格した人たちを中心に、今度市街地にできる郷の駅の情報センターで、ボランティアの観光ガイドができるないかと思っています。まだ構想段階ですが、町の観光振興に何がしかの貢献をしたいのです。」活動が停滞したことの総括を受けて、新たな挑戦が始まろうとしています。

活動です。

従来から住民主体の活動を進めてきたNPO法人きもべつWAO代表の山本浩一さんに、活動の意義についてお聞きしました。

「今年から5年間、毎月1回ベイト(※2)を散布し続ける」の活動は、WAOのメンバーだけでは持続が困難です。多くの住民が自分の都合がつくときにだけ交代で参加する方式で、活動を開始しました。生活や仕事と折り合いがつけられる範囲で、少しずつ地域活動に参加して欲しいと思っています。また、ベイトの製造を二ヶ町など近隣他町の住民活動と連携して行なうことで、個人人の負担を軽減する狙いもあるといいます。

### 持続可能な協働に向けて

### III 持続可能な 協働に向けて NPOもべつWAOの 新たな挑戦

今年の5月から、NPO法人きもべつWAOを中心に、エキノコックスの駆除活動が始まりました。『広報きもべつ』でも詳しく紹介しました(※1)が、住民有志が行政に提案して始まった事業です。住民が活動のボランティア組織づくりを進め、経費については行政が補助する、という連携に基づく

ものが大切だと考えています。そこで、会員向けの広報を作ることにしたのです。それと今年度は、自分たちの交流と問題意識の共有

ができます。たとえば、みんなでそばを植えて収穫し、そば打ちをしながら交流を図るとか。活動に参加する意欲をみんなで高められるといなと思っています。」また、屋台骨を支える次代のリーダーとして、家庭と地域活動をいかに両立させるか。青年交流セミナーの挑戦が続きます。

とが大切だと考えています。そこで、会員向けの広報を作ることにしたのです。それと今年度は、自分たちの交流と問題意識の共有

ができます。たとえば、みんなでそば

を植えて収穫し、そば打ちをしながら交流を図るとか。活動に参加する意欲をみんなで高められるといなと思っています。」また、屋台骨を支える次代のリーダーとして、家庭と地域活動をいかに両立させるか。青年交流セミナーの挑戦が続きます。

とが大切だと考えています。そこで、会員向けの広報を作ることにしたのです。それと今年度は、自分たちの交流と問題意識の共有

ができます。たとえば、みんなでそば

を植えて収穫し、そば打ちをしながら交流を図るとか。活動に参加する意欲をみんなで高められるといなっています。」また、屋台骨を支える次代のリーダーとして、家庭と地域活動をいかに両立させるか。青年交流セミナーの挑戦が続きます。

とが大切だと考えています。そこで、会員向けの広報を作ることにしたのです。それと今年度は、自分たちの交流と

## 行政報告

6/2

第2回定例町議会

菅原章嗣町長から  
4件の行政報告が  
なされました。

5・6月の低温、多雨、少日照といつた気象状況を受け、アスパラガスにおいては、5月に霜害が発生し、全町的に

被害が及びましたかマイナス気温の時間が短かったことから、昨年のような刈り取りを要する圃場は5 haにとどまり、全体の被害は平年収穫量の1割程度の減と見込んでいます。

またこの低温の影響により、早出し馬鈴薯やブロッコリーにおいても5日から7日の遅れ、メロン、トマトは、長雨による日照不足から玉の肥大不足や着色の遅れが見られ、平年に比べ1週間程度の遅れとなっています。

今後は、遅れについても回復していくものと予想しています。

## 2 開発行政要望について

国道230号の道路改良事業は、本年度をもって完了する予定です。国道276号の道路改良事業と中山峠地区においては、早期の全面整備についてさらに要望を行っていきます。本年度、福丘地区にあります弧線橋撤去とS字カーブの線形緩和について事業着手

新たな連携モデルとなるような取り組みにつなげていきたいと考えています。

## プラン策定の現場から・

# ワークショップからはじめる 自律プランづくり

最初に、第1回の作成委員会で要望のあつた人口推計と財政状況について、事務局より資料に基づいて説明がなされました。第2回作成委員会では、「産業経済」と「教育福祉」の2部会を設置し、会場を分けてそれぞれがワークショップ(※)を行いました。

と検討の方向性を探ります。その際、委員各自からあらかじめ提出されていました提言についても話し合いました。各部会のワークシヨツプは2時間近くに及び、様々な意見が飛び交いました。整理され、さらに意見が出されました。

**自律プラン作成委員会 第3回** 「7月9日」

前回の作成委員会に引き続い  
て、内容を具体化するためのワーク  
ショップが、部会に分かれて行われ  
ました。それぞれのテーマに沿つて  
2時間にわたり課題や問題点、方  
策のアイデアなどが提出されました。

**継続されたワークショップ**

産業面では、特に農業における  
新たな人材導入の方策やその可能  
性について、活発な意見交換がなさ  
れました。

これらのテーマと視点をどのように具体化するかを次回以降話し合うこととなりましたが、そのためには、3つの視点をわかりやすく簡略に表現することこれまでこれらとのテーマと視点が充分に実現できなかった原因や背景、その解決に不可欠な行財政改革などについて、問題点を出し合うこととなりました。

※参加した住民が各自の立場を越えて自由に発言し、その内容を整理しながら合意形成を図る手法。

# 第7回 臨時町議会

**菅原章嗣町長から  
1件の行政報告が  
なされました。**

菅原章嗣町長から  
1件の行政報告が  
なされました。

## 第五回

オ「イトアノハナカバ  
原料集荷実績について

料ホワイトアスパラガスが集荷されますが、その戸数は91戸、面積は35.5町歩で、その半数以上を由仁町三川地区産が占め、生産者の高齢化に伴い、総生産量は減少傾向にあります。

ちなみに、本町の生産者は29戸、10町歩の出荷契約数となつており、毎年平均30トンの出荷量となっています。本町の生産農家の反当りキロ数は300キログラム強で、他の2市町の平均と比べ100キログラム程度少ない出荷量となつており、生食用として販売されている量が、相当あるものと予測しています。

ホワイトアスパラガスはクレートドル用の一部として大切にしていかなければならぬものであります。今後は、クレードル興農の経営戦略を伺いつつ、ホワイトアスパラガス対策を本格的に検討する必要があると考えています。



# 写真で振り返る 6・7月の出来事

**6/17(水)**  
双葉フラワーストリート花植え



今年で21年目を迎える、双葉フラワーストリート。植栽枠が続く2キロ近い沿道は、朝早くから地域住民の方々によって準備が整えられています。柔らかく起こされた土に、格子状の小さな穴があけられていきました。参加した人たちは、その穴に手際よく花の苗を植えていきます。今年も、地域の方々や双葉学園、愛和の里と一緒に、喜茂別中学校の全校生徒と、喜茂別高校から最後の参加となる山本真代さんの姿も見られました。

**7/5(日)**  
教育長杯パークゴルフ大会

夏日の強い日差しの中、町民公園パークゴルフ場で、教育長杯パークゴルフ大会が開催されました。

平成3年から続いているこの大会は、当初パークゴルフの普及と健康づくりが目的でしたが、今日では、プレイを楽しむことや技の向上が目的となっているようです。今年は昨年より参加者が多く、40名のエントリーです。競技の結果、男性1位菅原良克さん(97)、2位大宮忠さん(101)、3位森玄一さん(103)、女性1位熊木富子さん(101)、2位栄花タケ子(102)、3位押切ふみ子さん(103)でした。



**6/15(月)** 喜中陸上競技大

予定していた6月14日(日)が雨天となったことから、翌日に開催された喜茂別中学校の陸上競技大会。この日も時折小雨が降って、午後の開始時間が30分以上遅れるハプニングもありました。競技種目は、徒競走、砲丸投げ、走り幅跳び、走り高跳びが中心ですが、最後に行われたリレー競技では、走り終わった選手の表情にそれぞれの充実感がみられました。タイムの測定などにPTAが取り組むのも、恒例の光景です。



**6/20(土)** 尻別川クリーン作戦



この日、尻別川流域では、下流域の蘭越町と上流域の喜茂別町の2箇所で、同時に尻別川クリーン作戦が行われました。5回目となる当町では、主催者を代表して教育委員会の麻生隆教育長からいさつがなされ、早速3つのグループに分かれ、大町から留産方面に向かい、河川敷と国道276号沿道のゴミ拾いが始まりました。河畔では、水質測定キットによる結果が紹介されましたが、COD、アンモニア、リンともに良好でした。「今年はゴミが少ないね」そんな会話も、あちこちで聞かれました。

**7/4(土)** 喜茂別保育所運動会

第51回の喜茂別保育所運動会が開催されました。前日には、喜茂別高等学校3年生の山本真代さんや先生たちがボランティアでリハーサルに参加したり、愛和の里の皆さんのが広場の整地をしてくれたりと、地域みんなの応援で行われている、町を挙げての大運動会です。園児のみなさんが一所懸命走ったり、保護者と一緒にゲーム、祖父母や卒園児の種目もあって、植木典子先生の名アナウンスに乗って、今年も会場のちびっ子広場は終日大賑わいでした。



**7/11(土)～12(日)** 選抜少年野球大会

第17回喜茂別町長旗、第9回喜茂別ライオンズクラブカップを争う選抜少年野球大会が、町営球場で開催され、後志管内と札幌から8チームが参加し、2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。



初日第2試合で留寿都野球スポーツ少年団と対戦した喜茂別野球スポーツ少年団ファイターズは、後半で大量点を挙げて逆転し、9対6で勝ちました。翌日の準決勝では、対戦した真狩野球スポーツ少年団に12対1でコールド負けを喫しましたが、大勢の応援団からあたたかい拍手が贈られました。

**6/6(土)** 鈴川小学校大運動会



運動会シーズンの幕開けは、開校101年目を迎えた鈴川小学校の大運動会です。「限界のさらに上を目指せ!」をスローガンに、全校児童12名が全ての競技で自分を超える記録に挑みます。和太鼓では、1年生の松本涼君が始めてみんなと一緒に2曲演奏しました。また、一輪車のパフォーマンスでは、各自がまだ成功していないプレイにも挑戦しました。鈴小の運動会は、日々挑戦を重ねる姿をお披露目し、地域のみんながそれを激励する行事となっています。

**6/13(土)** 喜茂別小学校開校110周年記念運動会



全校児童71名が「120%の勇気!」を目指した開校110周年記念運動会が、喜茂別小学校で挙行されました。今にも雨が降りそうな風の冷たいグラウンドで、紅白の熱戦が続きます。昼食後のスクールバンドは、運動会の花形。その見事なパフォーマンスが、聴衆の視線を一身に浴びます。同点で迎えた最後の種目全校紅白リレーは、例年以上に応援が盛り上がりました。そしてその結果も、同点!優勝旗を紅白で一緒に握った二人の笑顔が、眩しく輝いていました。

**6/14(日)** 国道駐車帯で花植え



自然の木々も花々も、一斉に彩を豊かにする北海道の6月。私たちの町は、家の庭先も街並みも、そして郊外の道路も、自然に負けじと彩を増します。その陰には、町民の皆さんとの様々な努力があります。商工会や建設協会、青年交流セミナー、観光ボランティアの会、愛和の里、WAOなどの参加によって、国道230号の尻別橋近くの駐車帯、国道276号相川のビューポイント駐車帯などで、花植えが行われました。今年は、多年草のオダマキも加わりました。

**6/8(月)**  
老人クラブ福寿会が花植え



老人クラブ福寿会が、ふれあい福祉センターや厚生クリニックの周り、ちびっ子広場などの花壇に花植えを行いました。みなさんそれぞれの体力に応じて役割を分担しながら、手際よく花の苗を植え込んでいきます。健康で元気な皆さんのが植えた花の彩りは、福祉や医療で訪れる方々の心を優しく包み込むことでしょう。作業が終わった後は、近くの広場でバーベキューを楽しみました。

**6/12(金)**  
後志管内商工会女性部研修会



後志管内の商工会女性部が一堂に会して行う研修会が、今年は喜茂別町の農村環境改善センターで催されました。牧場タカラの斎藤久さんの講演を聴いた後、家族が支えあう牧場タカラの新しい酪農の取り組みを紹介した、NHKのテレビ番組をビデオで学びました。

研修の後は、それぞれの女性部が工夫を凝らしたアトラクションに笑いがはじけ、笑顔と歓談が会場を満たした会食懇親会となりました。





# まちづく

HAPPY BIRTHDAY 8月生まれ  
1歳です

松橋 こころちゃん(留産)

平成20年  
8月5日  
生まれ

お父さん 正樹さん お母さん 久美さん  
生まれて来てくれてありがとう。  
元気に育って下さい。

佐々木 紅采ちゃん(緑町)

平成20年  
8月28日  
生まれ

お父さん 謙太さん お母さん 涼子さん  
いつもニコニコ  
元気で優しい子になってね♥

## 【戸籍の窓口】

## お悔やみ申し上げます

6月26日 榎本 美枝さま(81歳) ..... 本町

6月28日 熊谷 マス子さま(80歳) ..... 旭町

7月15日 山田 耕治さま(74歳) ..... 尻別

## まちのカレンダー

[+救急当番病院] 農村環境改善センター	[鈴川集落センター]	[厚生クリニック]	[ふれあい福祉センター]
[鈴川] 俱知安町文化センター	[岩内町高台84-3 ☎0135-62-8373]	[市民公園パークゴルフ場]	
[高] 喜茂別高校	[中] 喜茂別中学校	[喜茂別小学校]	[鈴川小学校]
[双] 双葉克雪管理センター	[町民プール]	[喜茂別保育園]	
8/ 9日	わんぱく川下り9:00～(尻別川河川敷)/PG協会パークゴルフ移動大会[京極町] 9:00～(教育委員会前集合)/ [+救急当番病院]▶俱知安厚生病院☎ 22-1141		
10月	農心配ごと相談9:00～/[みんなの介護予防教室]13:30～		
11火	[ふれあい交流サークル]10:00～/[運転免許法定更新時講習](一般10:30～ 違反13:00～ 優良15:15～)		
12水	[岩] しりべし弁護士相談センター(事前予約)		
13木	[ふれあい交流サークル]10:00～		
14金	きもべつ夏まつり		
15土	きもべつ夏まつり [+救急当番病院]▶俱知安厚生病院☎ 22-1141		
16日	[PG協会パークゴルフ月例会]8:00～ [+救急当番病院]▶俱知安厚生病院☎ 22-1141		
17月	農心配ごと相談9:00～/[みんなの介護予防教室]9:30～		
18火	[ふれあい交流サークル]10:00～/ [運転免許法定更新時講習](違反10:00～ 初回13:15～ 優良15:30～)		
19水	ラジオ体操最終日/[跡跡中]始業式/[老人クラブパークゴルフ月例会]8:00～/ [岩] しりべし弁護士相談センター(事前予約)		
20木	★回観物配布日 [厚] おしゃべりクリニック9:00～/[ふれあい交流サークル]10:00～		
21金	[高] 全校集会/農しらかば会10:30～		
22土	[+救急当番病院]▶俱知安厚生病院☎ 22-1141		
23日	[+救急当番病院]▶俱知安厚生病院☎ 22-1141		
24月	農心配ごと相談9:00～		
25火	[厚] おしゃべりクリニック9:00～/[ふれあい交流サークル]10:00～/ [運転免許法定更新時講習](一般13:00～ 違反14:15～)		
26水	[岩] しりべし弁護士相談センター(事前予約)		
27木	農喜茂別町・北大連携[健康診断]8:30～ [ふれあい交流サークル]10:00～		
28金	農喜茂別町・北大連携[健康診断]8:30～		
29土	[+救急当番病院]▶俱知安厚生病院☎ 22-1141 蘭越診療所☎ 57-5424		
30日	[+救急当番病院]▶俱知安厚生病院☎ 22-1141 蘭越診療所☎ 57-5424		
31月	農心配ごと相談9:00～/[みんなの介護予防教室]9:30～、[13:30～/ [町民プールクローズ]		
9/ 1火	[厚] おしゃべりクリニック9:00～/[ふれあい交流サークル]10:00～/[予防接種]10:00～/ [運転免許法定更新時講習](一般10:30～ 違反13:00～ 優良15:15～)		
2水	[PG] 老人クラブパークゴルフ月例会8:00～/[岩] しりべし弁護士相談センター(事前予約)/ [ふれあい交流サークル]14:00～		
3木	★広報9月号配布日 [ふれあい交流サークル]10:00～		
4金	喜茂別神社祭典/[スッキリ体操]14:00～		
5土	喜茂別神社祭典 [+救急当番病院]▶俱知安厚生病院☎ 22-1141		

## ■編集後記

先月号に続き、「多様な自治の担い手」の現状と課題を考える特集の2回目です。「協働」を担っているさまざまな住民活動団体からお話を聞きして、共通の課題が見えてきました。今後それぞの団体が、単独のままこれまでのよう活動を持続できるかどうか。アウトソーシングも協働も、地域に担い手がないと成立しません。共通する課題解決のヒントは、それぞれの担い手が互いに連携し、助け合いながら活動や事業を推進することでしょう。また、連携の相手は、地域外、町外の住民にも広がっていく必要に迫られそうです。地域間の広域連携による課題解決の可能性については、次回の号で取り上げます。(梅)

## 町民まちづくり編集工房から

広報さもべつ「編集会議」に  
ご参加ください!!

毎月「編集会議」を開催していますが、これは、  
町民ならどなたでも参加できる場です。もちろん意見を述べることも自由です。日時等はオフ  
トークとホームページ、新聞等でご案内いたしますので、是非ご参加ください。

人口  
人口と世帯  
(6月末日現在)  
( )は前月比

人口  
男 1,268人(-2)  
女 1,250人(-7)

合計2,518人(-9)

世帯数  
1,237戸(+3)